

Ensemble Kiika

6th Concert

アカペラの響き
ガムラン
アメイジンググレイス他

女声合唱アルバム

「九ちゃんが歌ったうた」
上を向いて歩こう
見上げてごらん夜の星を他

三善晃
「四つの秋の歌」他

信長貴富
夕焼け 春 他

指揮 栢森和重
ピアノ 佐山絵美

2019年8月17日(土) 13:30開場 14:00開演
ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール 岐阜市学園町3-42
入場料 1,000円(高校生以下500円)

主催 Ensemble Kiika
後援 岐阜市教育委員会
公益財団法人岐阜県教育文化財団

問合せ先 三田村智子 090-1785-7362
<https://ensemblekiika.webnode.jp/>

お願い

未就学児の入場はご遠慮ください
出演者への花束、贈り物等は
謹んでご辞退申し上げます

うたをうたうとき わたしはからだをぬぎすてます

まどみちお

Ensemble Kiikaは、5月に京都の音楽の殿堂、府民ホールアルティでEnsemble Clair Kyotoとジョイントコンサートをおこない、このコンサートは凱旋公演とでもいえるコンサートです。オープニングにはサウンドスケープの提唱者としても知られるシェーファーのGAMERAN(ガムラン)。ガムランとはインドネシアのジャワ島やバリ島などの島々で大小の銅鑼や鍵盤楽器によって演奏される民俗音楽の総称。現代カナダを代表するシェーファーによって合唱作品となった。

少年は 湖を ボートに乗って わたるよ

フィンランドの北部からスウェーデン北部に広がるラップランドで歌われる「ブーローマッティ BURROMATTI」と、フィンランドの作曲家コスティアイネン P.Kostiainenの編曲による Amazing Grace アメイジンググレイスを組み合わせ、フィンランドの透明感ある短い夏と心温まる冬を描いた。

少女よ あなたの隣には だれもいないけれど私には見えるのです

高田敏子

今なお光を放ち続ける三善晃の作品。「麦藁帽子」「えびがはねたよ」は「こどものための合唱曲集 光のとおりみち」の中に編まれている。三善はこの曲について次のように述べている。「自然に育てられながら、やがて子供たちは、人間としての心に自然を写すようになるだろう。愛とは、そのように写しとられた自然のことである。そして、愛が人々の間に交わされあうときのあらわれが、私には「光」に見える。と言え、この組曲もまた、私の願いであり、祈りであって、子供たちに私が贈ることのできるものは、これしかないのだと思う。」この2曲に加えて、「女声合唱のための 四つの秋の歌」の3曲をおくことで、作曲家の意図はフォーカスされる。武満徹は三善晃の作品を「絶対抒情」といった。極上のリズムがあふれる。

愛すること

それがどんなことだか わかりかけてきた 荒木とよひさ「心の瞳」

思えば、初めて「心の瞳」を中高生の皆さま向けに編曲させていただいてからもうどのくらいになりますか。長く愛され歌い継がれている曲だからこそ、親しんできた音そのままに、あるいはまた違った風合いにご要望もあって持えたものを、この度こうして一冊にまとめていただくこととなりました。ここに収められている歌たちが生まれてさっそく街なかを賑わしていた当時はそんなふうにも感じることもあまりなくおりましたが、この本のタイトルでもあります「上を向いて歩こう」の「♪幸せは雲の上へ～空の上へ/悲しみは星のかけこ～月のかけこ」と綴られた詞に坂本九さんのお声を重ねると、何だかここが「いい」と静まりかえって…。【横山潤子 九ちゃんが歌ったうた 上を向いて歩こう】より

わたしはめんどりの様な理屈抜きの情熱で 希望と信愛の卵を抱きしめる

新川和江

一期一会の出会いと永遠なるものとは、まったく逆のものに見えて、実は背中合わせのものではないかと思うことがある。

信長貴富の作品でも、まさに女声合唱で聴きたい「夕焼け」「うたをうたうとき」「春」を選んだ。アカペラで演奏される「うたをうたうとき」のオリジナルは混声合唱であるが、音域の狭い緊張感のあるアカペラ女声合唱によってこの曲の姿がよりシャープに響く。

Ensemble Kiika あんさんぶる きいか

岐阜市市橋を拠点に活動しているアカペラ(無伴奏)を中心とした女声アンサンブルグループ。関西で活躍の指揮者栢森和重を招き、2012年9月に結成以来、月2回の練習に県内外各地から集まる。現在23名。

「真摯に音楽に向かい、いい「うた」を歌い、多くの人に届けたい。そこに喜び楽しさを見出していきたい」と、演奏会を中心に据えて活動している。毎夏の定期演奏会の他、羽鳥ランチタイムコンサートや文化祭への出演、地元の精華中学校音楽部との合同演奏、他団とのジョイントコンサートなど、意欲的に活動している。



指揮 栢森 和重

Kayamori Kazushige

1989～1997年、全日本合唱コンクール連続金賞など全国的に注目を集めてきた合唱団「うたおに」の指揮者。

オーケストラを伴う大規模な合唱作品も多く手がけ、これまでに、愛知室内オーケストラ、奈良交響楽団等を指揮。

2010年国民文化祭京都イベント少年少女合唱フェスティバルにおいて特別講師および合同演奏を指揮。2011年けいはんなフィルハーモニー管弦楽団の演奏会へ客演指揮者として招かれる。現在4団体の音楽監督、常任指揮者の他、オペラ、吹奏楽、コンクール審査員、指揮法講習会の講師なども務める。

指揮法を小泉ひろし氏、合唱指導法、声楽を羽根功二氏に師事。



ピアノ 佐山 絵美

Sayama Emi



会場アクセス



JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分